



【学校教育目標】 人間性豊かな心身ともにたくましい社会人になるための基盤を育成する

《めざす子ども像》 ○考える子 ○やさしい子 ○元気な子

〒594-0083 和泉市池上町三丁目14番45号 TEL 0725-45-3840 FAX 0725-45-3850

サーカスの象

ある本に、以下のようなことが書かれているのを見つけました。

サーカスの象は、小さい頃に頑丈な鎖でつながれます。子象は鎖を引っ張って逃げようとしますが、まだ小さいので鎖は切れません。そのうち、逃げられないと観念して暴れるのをやめてしまいます。

さて、この子象は年月がたつうちに大人になります。もうつながれている鎖など簡単に切れるパワーを身につけています。ところが、象は決して鎖を切って逃げようとはしません。象は鎖が切れなかった経験はしていますが、鎖を切った経験はしていません。「鎖は切れない」という観念が植えつけられているのです。

人間も、この象と同じようなことがあるのではないのでしょうか。「あなたには無理よ」「できるわけないでしょ」などと大人が言うてしまうことは、鎖につながることと同じことになるのかも知れません。

一度失敗したことを「これは自分にはできないことなのだ」と思い込み、「苦手意識」を自分で植えつけてしまいます。特に子どもは、上記の子象と同じで、日々成長しています。能力が育っているにもかかわらず、いつでも「これはダメだ」とすり込まれると、本当にいつまでもできるようにはなりません。それが度重なると、自尊感情や自己肯定感がもてない人間に育ってしまいます。

何事もはじめからできる人はいないので、出来るまでやり抜いていこうという気概を持てる人に育ってほしいと思います。99回失敗して、そこで終わると「何回やっても結局失敗だった」となりますが、あと1回やって成功したとすれば、99回の失敗は、成功に至る道だった『失敗は成功のもと』になります。

努力に価値を見出す人になってほしいです。そのために、子どもに対して大人は、「認めること」「励ますこと」「長い目で見ること」をするように心がけたいものだと私自身にも言い聞かせています。

運動会

9月24日(土)に運動会を実施しました。前日が雨だったので心配しましたが、コンディションのいい状態で子どもたちのがんばりを見ることができました。

【1,2年生】



『いけがみにサチアレ!!!』蝶ネクタイのかわいい1・2年生の登場です。手足を大きく使ったダンスができていて、曲の速いテンポにも合わせてバッチリでした。最後のポーズでは「このダンス好きなんだよ」という気持ちが伝わってきました。

【3,4年生】



『IKEGAMIの勇者たち』体を大きく動かすことで、赤と青のマントが風にゆれてカッコ良かったです。曲の間中、手拍子が天に響き渡っていました。ノリノリでニコニコ笑顔でダンスできていました。速いウェーブもスムーズにバッチリ決まっていましたね。

【5,6年生】



『ONE～新時代～』一人技は腹筋を使ってよくがんばりました。組体操もきれいで見ごたえがありました。中心の旗の合図にきれいなウェーブができました。フラッグのウェーブは大きなうねりを感じましたし、全員同時の羽ばたきの音はとても力強く響き渡ってきれいでした。全体演技のそろう方はさすがで池上小の「宝」です。